

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択者

教科担当者：鈴木

使用教科書：（大修館書店「言語文化」 浜島書店「LT古文1」 尚文出版「用言徹底ワーク」「助動詞徹底ワーク」 学研「マドンナ古文パーフェクト版」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。

【学びに向かう力、人間性等】わが国の言語文化に関する理解を深める。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章を正確に読み取るために、語句や表現方法に関する知識を学ぶ。	古典文学に関する知識をもとに作品の内容を的確に理解する。	わが国の言語文化に関する理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	主語の補い方を学ぶ。 逆接と仮定について学ぶ。 疑問と反語について学ぶ。 推量の助動詞について学ぶ。 確述用法と「なむ」の識別について学ぶ。 接続について学ぶ。	「注解演習 徒然草」序段～四十一段	○	○		<b>【知識・技能】</b> ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品を読み味わうことをとおして、当時の価値観について知り、兼好法師の伝えたいことを考えようとしている。	○		○	7
	定期考査						○	○	1	
	接続について学ぶ。 願望の助動詞・助詞・「いかで」について学ぶ。 「なり」の識別について学ぶ。 「に」の識別について学ぶ。	「注解演習 徒然草」四十四～七十五段	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・作品を読み味わうことをとおして、当時の価値観について知り、兼好法師の伝えたいことを考えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	1	

2 学 期	助詞の省略について学ぶ。 過去、完了、断定の助動詞について学ぶ。	「注解演習 徒然草」八十七～一三四段				○	○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品を読み味わうことをとおして、当時の価値観について知り、兼好法師の伝えたいことを考えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査									○	○		1
	推量、打消、受身、使役の助動詞について学ぶ。 係り結びについて学ぶ。	「注解演習 徒然草」一三七～一七二段				○	○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品を読み味わうことをとおして、当時の価値観について知り、兼好法師の伝えたいことを考えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査									○	○		1
3 学 期	・助詞について学ぶ。 ・入試問題演習	「注解演習 徒然草」一八四～二三四段				○	○	○	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品を読み味わうことをとおして、当時の価値観について知り、兼好法師の伝えたいことを考えようとしている。	○	○	○	2
合計													
													34